

報道関係各位

2014年8月14日

株式会社ドコモ・インサイトマーケティング
株式会社角川アスキー総合研究所

「モバイル空間統計×メディア・ライフスタイル調査で見る人の動きと来場者プロフィール」

コミックマーケット来場者の実情がわかる インフォグラフィックスを制作、CCで公開

株式会社ドコモ・インサイトマーケティング(本社:東京都港区、代表取締役社長:大竹口 勝)と株式会社角川アスキー総合研究所(本社:東京都文京区、代表取締役社長:角川 歴彦)は、世界最大規模の同人誌即売会である「コミックマーケット」の来場者について、両社それぞれが持つマーケティングデータによって集計・分析し、結果をインフォグラフィックス(複数のデータ等を、視覚的にわかりやすくまとめた一枚絵)にまとめて公開・配信を開始いたしました。

広く一般にも認知されるようになり、多様なジャンルの作品が展覧され、多くの人が集まるようになったコミックマーケット。どのくらいの人はどこからきて、彼ら／彼女らはどういった属性を持っているのか、ドコモ・インサイトマーケティングの「モバイル空間統計」(NTTドコモの携帯電話ネットワークのしくみを使用して作成される、人口の統計情報)および角川アスキー総合研究所の「メディア・ライフスタイル調査2014」(メディアやコンテンツ、消費動向、ライフスタイルに関する1万調査データ)によって、分析した結果となります。

なお、インフォグラフィックスは「クリエイティブ・コモンズ 表示-改変禁止4.0 国際ライセンス」(CC BY-ND 4.0)で公開しますので、改変は禁止ですが、商用／非商用を問わず、誰でも自由に利用・配布可能です。

結果の要点

コミケ当日の日中、都内で最も人口が集まるのは東京ビッグサイト

昨年12月29日～31日の「コミックマーケット85」の例では、12月29日午前11時の時点で、都内で最も人口が多いのは東京ビッグサイトだった(新宿の3倍以上)。一方で、同日でも夜になると、ビッグサイト周辺からはほとんど人がいなくなり、新宿や池袋といった繁華街に人が集中(ビッグサイトから新宿に移動しているわけではない)。それが翌日になると、再びビッグサイトに非常に多くの人が集まってくる。

3日間のうち、初日は男女拮抗も、2日目以降男性比が増加

同じく「コミックマーケット85」の例では、初日、12月29日の男女比はほぼ同数だったのが、30日、31日になるにつれて、女性が減少し、男性比率が非常に高くなった(全体の男女比とは異なる可能性あり)。3日間に展覧するサークルの構成、ジャンル等によって、こういった現象が起きていることが想像できる。

コミケ女子に特徴アリ! ガラケー、ニコ動、カラオケ(アニソン)好き

コミックマーケットに参加している20代男女を、一般の20代男女と比較・分析すると、かなり異なる部分があることがわかった。とくにコミケ女子(コミケに参加する20代女性)は、意外とガラケー率が高い、男子と同等にネット動画、とくにニコ動を鑑賞する、ディズニーランドが嫌いなわけではないが、むしろカラオケ(アニメ主題歌を歌う)や図書館が好きなどといった傾向が見られる。

※同じ20代女性というくりでの比較だが、コミケ女子のほうが一般の20代女性よりも、若い年齢の構成比がやや高くなっており、そのことに起因する違いもあると思われる。

インフォグラフィックスは以下のURLからシェア、ダウンロードできます
<http://www.lab-kadokawa.com/img/comiketgraph.jpg>

【株式会社ドコモ・インサイトマーケティング】 URL: <http://www.dcm-im.com/>

株式会社ドコモ・インサイトマーケティングは、主にリサーチ事業、コミュニケーションサービス事業およびエリアマーケティング事業を展開し、生活者に密着したモバイルの特性を最大限活用したリサーチやプロモーションを提供しています。ドコモプレミアクラブ会員約5,000万人の顧客基盤と、インテージの情報活用ノウハウの融合により、圧倒的な規模と品質を備えたサービスを、生活者と企業に提供します。

〒105-0004 東京都港区新橋2-5-5 新橋2丁目MTビル 3F

株式会社ドコモ・インサイトマーケティング 担当:鈴木、白川

(TEL:03-6205-7470、Mail:info@dcm-im.com)

【株式会社角川アスキー総合研究所】 URL: <http://www.lab-kadokawa.com/>

角川アスキー総合研究所は、角川グループに属する法人向けのシンクタンク、リサーチ・メディア企業です。

角川グループの持つコンテンツ力、メディア力、リサーチ力、デジタルコンテンツに関する技術力を生かし、「メディア」「エンターテインメント」「インフォメーション」の3つの対象領域で事業を展開。テクノロジーや消費者行動の変化を捉えながら 日本のメディア・コンテンツ産業に貢献すべく、課題となる重要テーマに取り組んでいます。

〒113-0024 東京都文京区西片1-17-8 KSビル2F

株式会社角川アスキー総合研究所 担当:中西

(TEL:03-5216-8125、Mail:info@lab-kadokawa.com)

【本件に関する報道関係からのお問い合わせ】

株式会社角川アスキー総合研究所 担当:中西 (TEL:03-5216-8125、Mail:info@lab-kadokawa.com)